

区民一人ひとりが苗木地域の
今後を考えるために

ひとの住むまち苗木

安全で 安心して 幸せに

住むまち苗木



苗木地域まちづくり推進協議会

苗木地域まちづくりビジョン

『はじめに』

リニア岐阜県駅が坂本地域にでき、日本三名泉の下呂への通り道になる苗木。濃飛横断道路は、美恵橋までの建設計画が進められ、将来に向けて通行量の増加はいうまでもありません。また、苗木城跡は15万人もの観光客が訪れる中津川市の観光スポットとなりました。そして地域の拠点となる苗木交流センターは、苗木以外の方々にも多く活用されており、中津川市全体から注目されている地域です。

このような苗木地域をどのようなまちにしていくかは、苗木の住民が自ら考え、計画して地域が一体となって実践していくことが大切です。

苗木地域まちづくり推進協議会（以下まち協）は、平成29年度に苗木地域に住む中学生以上の区民の皆様へアンケートを実施し、講師を交えての話し合いを重ね、平成31年度にビジョンを作成しました。それと共に令和元年組織の見直しを行い令和2年度から再スタートしました。現在規約の見直しなど課題はまだありますが「住んで良かった」と思えるまちを目指し、皆さんと一緒に活動していきたいと願っています。

『基本目標』

～歴史と文化が息づき、助け合って生きるまち苗木～

中津川市を代表する観光スポットでもある苗木城跡や希少生物・植物が生息する夜明の森など、歴史と自然に恵まれた苗木地域を、住民のお互いの力で助け合い住みよいまち作りを目指しましょう。

『基本方針』

基本目標の達成に向け、下記の4つの基本方針を設定します

総務企画部会：苗木地域をブラッシュアップし、魅力を情報発信する

教育文化部会：苗木が好きな子供が育ち、若者が元気よく住んでいるまち

生きがい助け合い部会：助け合い支え合い、健康で楽しく暮らせるまち

観光振興部会：苗木城跡と夜明けの森の観光振興を推進する



『あいさつ』



苗木地域まちづくり推進協議会会長

杉山 直己

日頃は苗木まち協の活動に対し、ご理解とご協力感谢您いたします。
さてコロナ禍はなかなか収まらず、不憫な毎日であります。ご存じのようにコロナ禍が収まったとしても元へは戻りません。

理念は変わらなくとも、やり方は変えていかなければなりません。

まち協としては、四つの部会においてそれぞれの部会にて検討し、部会での活動をしていこうとしております。

すでに実施している部会、立ち上げようとしている部会等、この令和4年度は新たなやり方を変えようとしております。

つまり「仕込む」年であります。令和6年には、その活動の成果が見え始めてくるでしょう。

また区長会を縦軸に、まち協を横軸にして、苗木の活性化を進めていくつもりです。

この令和4年度が大事な年ありますので、皆様の協力をお願いいたします。



総務企画部会長

吉田 真

総務企画部会は、歴史・文化・自然にあふれた苗木地域の魅力を発掘して磨きをかけ、地域内外に広く知っていただくとともに、地域の様子や将来像の情報をお伝えします。

長引くコロナ禍により地域の皆さんの交流できる場をもちにくい状況ですが、交通安全協会や消防団を中心として、地域の安全・安心・防災を担う活動を通じて「まちづくり」を応援します。



教育文化部会長

安保 弘之

現役の子育て世代、時間も気持ちも余裕が無い中で部会長という重責を担うこととなりました。これからのまちづくりに、苗木地域に必要とされていることとは何なのでしょう。少子高齢化の進む中、教育文化部会という立場から皆様の協力のもとで色々なことを模索していきたいと思っております。

全ての人たちの”居場所づくり”、そこからスタートしたいと思っています。



生きがい助け合い部会長

吉村 久資

生きがいは満足感や幸福感から生まれ、生きがいを含めすべての生活基盤は、健康だと考えます。心身ともに健康から生きがいを感じ、さらには助け合いの心づくりが多くの方に図られるように、老若男女を問わず福祉の推進や生きがいづくり、健康増進、軽スポーツ活動等に区民がチャレンジできる機会づくりを本年度の目標に置き、苗木地区の福祉活動や健康増進に関わる本部会構成団体を中心に連携・協働して活動したいと考えます。



観光振興部会長

赤坂 理恵

この度、林良夫会長の後任といたしまして、観光部会長に選任されました。

まだ微力ではございますが『苗木城跡地、夜明けの森を活かしたまちづくり～笑顔咲く町苗木～』をテーマに全力を尽くして参りたいと念願しております。

先輩方が作ってくださった苗木の町を守り、更なる魅力を掘り起こし、地域の人達みんなで作る『笑顔咲く町苗木』地域の皆様どうぞ御協力の程宜しく願いいたします。

<p>本部組織</p>	<p>区長会（区長会三役＝まち協理事） （区長＝評議員） 区民との情報媒体… 情報伝達、情報収集</p>	<p>○総会＝評議員（区長・区友会及び） ○役員会＝理事・部会長 理事：20名以内 区長 苗木 四役：会長、副会長4名、</p>
<p>部会</p>	<p>総務企画部会</p>	<p>教育文化部会</p>
<p>基本方針</p>	<p>苗木地域をブラッシュアップし 魅力を情報発信する</p>	<p>苗木が好きな子どもが育ち 若者が元気よく住んでいるまち</p>
<p>めざす姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動の継続・充実しているまち ・防犯・防災・消防活動が定着し安全安心な地域生活があるまち ・空き家対策が進み、若者の定住化が徐々に進んでいるまち ・SNS・ICTの活用で広報、情報の発信が充実しているまち ・女性・若者が地域活動に積極的に参加しているまち ・公共交通体系が進み弱者に安心で優しいまち ・農業、林業が継承され自然環境が保たれているまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を活かした子育てが出来ているまち ・歴史と文化、伝統を活かした子どもの育あるまち ・挨拶があふれ明るく元気なまち ・文化資源を活かした公民館活動が充実したまち
<p>短期目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心の地域生活の上に公共交通体系の具体化を進める ・女性や若者の地域活動を積極的に推進する ・ITを活用した広報・情報発信を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・全地区であいさつがあふれる明るい地域 ・歴史や文化資源を活かした子どもたちの進める ・文化、観光資源を活かした公民館活動の
<p>単年度目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の共有化 ・苗木秋祭りの開催 ・まちづくり講演会の開催 ・会員交流会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の共有化 ・苗木文化交流祭りの開催 ・苗木地域まちづくり子ども議会
<p>部会員</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 部会長 * 副部会長（2名） * まち協理事（2名） * 区長（3名） * 青年商工会 * 消防団苗木分団 * 女性防火クラブ * 防災士グループ * 交通安全協会苗木支部 * 交通安全婦人苗木支部 * 地域安全指導員 * 個人会員（2名） 	<ul style="list-style-type: none"> * 部会長 * 副部会長（2名） * まち協理事（2名） * 区長（3名） * 青少年育成苗木支部 * 公民館運営委員 * 苗木芸能協会 * 風流踊り小学連 * 風流踊り苗木連 * 風流踊り龍神連 * 苗木城太鼓 * のぞみ保育園保護者会 * 苗木小学校PTA * 苗木中学校PTA * 苗木学童保育所（2名） * 個人会員（2名）

推進協議会組織図

合って生きるまち苗木～

目的に賛同する団体の代表・目的に賛同する個人)

会三役、財産区議長、副議長、区友会代表、区長会推薦、公民館長、苗木事務所長、まち協事務局長、会計2名（理事からの互選）、事務局長

監事：2名

顧問…地元市議団
関連組織団体…学校、保育園、JA、郵便局
財産区議員、区友会、他

生きがい助け合い部会

助け合い支え合い健康で
楽しく暮らせる安全安心なまち

- ・だれもが優しく親切なまち
- ・多様な福祉活動が充実しているまち
- ・高齢者が生き生きと生活して活動しているまち
- ・だれもがスポーツに親しみ、競技やレクリエーションに親しんでいるまち
- ・健康増進のための多様な活動が進んでいるまち
- ・子どもや高齢者の見守り活動が進んでいるまち

- ・社協活動による高齢者福祉の推進、高齢者の生きがいづくり
- ・健康増進と軽スポーツ、レクリエーション活動の展開

- ・活動の共有化
- ・区民の健康づくりへの取り組み

- * 部会長
- * 副部会長（2名）
- * まち協理事（2名）
- * 区長（3名）
- * 苗木地区社会福祉推進協議会
- * 民生児童委員協議会
- * 更生保護女性会
- * 苗木老人クラブ連合会
- * 苗木体育協会
- * スポーツ推進委員
- * 地域福祉推進員
- * 健康推進委員
- * 苗木花の会

観光振興部会

苗木城跡と夜明けの森の
観光振興を推進する

- ・国史跡苗木城跡について区民の関心が高い
- ・苗木城跡への観光人口が継続的に増加し、観光収入が確保されている
- ・自然公園の夜明けの森の認知度が上がって関心が高い
- ・散策路やその他の設備が充実している
- ・二つの拠点観光地により、事業活動や商店等の活動が生まれている
- ・魅力ある地域として発信しているまち

- ・苗木城跡観光の環境整備充実
- ・夜明けの森の観光地化への整備とPR充実

- ・活動の共有化
- ・苗木城跡の整備
- ・夜明けの森の整備
- ・イベントの開催

- * 部会長
- * 副部会長（2名）
- 苗木城跡活性化委員会
- * まち協理事（2名）
- * 区長（2名）
- * 苗木城跡・苗木遠山史料館友の会
- * 城山を愛する会
- * 苗木城跡案内ボランティアの会
- * 苗木飲食店組合
- * 恵那食品安全協会苗木支部
- * なえぎ城山レディース
- * 苗木城跡を世界に広める会
- * 苗木催事会
- 夜明けの森活性化委員会
- * まち協理事（2名）
- * 区長（2名）
- * 鉱物博物館友の会
- * 名門カヤック大学
- * 高峰湖水利組合
- * 農事改良組合
- * 農業委員苗木地区
- * 井汲区
- ※ 個人会員（1名）

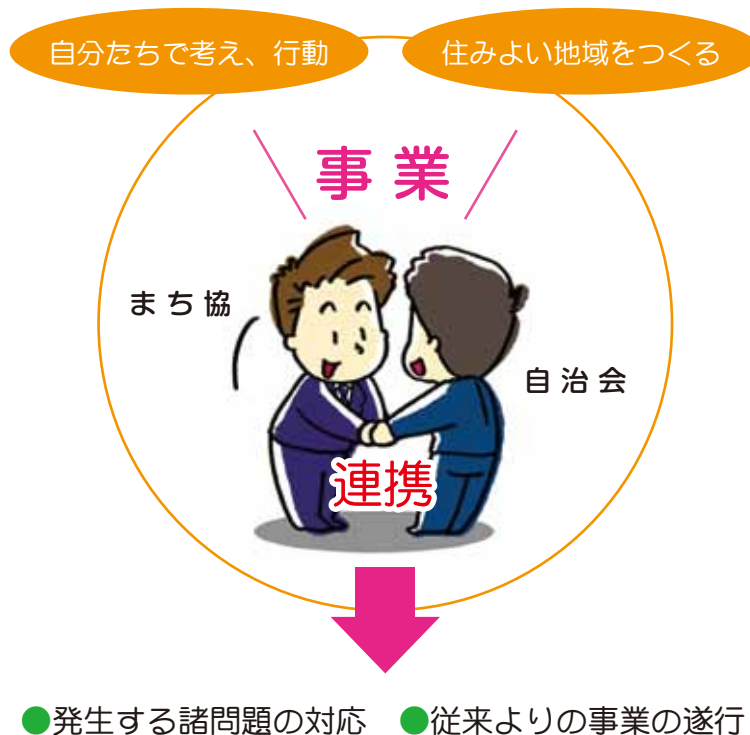
自分たちの地域は、自分たちで考え創る時代に向けて

『まち協と区長会との関係』

苗木地域には、地域の振興発展のために組織された「苗木総合計画推進協議会（通称は総計）が平成13年5月の総会で解散し、新たな組織へと準備がされた中、平成14年1月23日に「苗木地域まちづくり推進協議会」がスタートしました。区長会、財産区議員が中心となり構成される協議会でしたが、区長の負担軽減を理由に、組織の見直しが行われ、平成28年4月の総会から現在の形になりました。そこで、まちづくりに住民の意向が反映するように中学生以上を対象にアンケートを行い、新たな組織編制と方向付けをしました。地域の自治をまとめる区長会の三役がまち協の役員であることから、区長会とまち協が両輪となり、住みやすい地域を創っていく事が重要なのです。

苗木まち協は、各種団体・サークル・ボランティアなどで構成されている地域振興団体です。それぞれの目的に向かっていく団体や様々なメンバーが集まっています。四つの専門部会があり、そこで議論して各分野活動を展開していきます。もちろん区民の皆さんからのご意見もいただきながら随時見直しを図ってまいりますので更なるご理解とご協力をよろしくお願いします。

まちづくり協議会と自治会との関係



『人口推移』

苗木地区の人口と高齢化率

高齢支援課事業概要高齢者の状況より

年 度	人 口 (A)	65歳以上 (B)	75歳以上	高齢化率 (B/A)	高齢世帯	独 居
H25	6,443	1,760	934	27.3%	250	284
H26	6,414	1,795	933	28.0%	252	301
H27	6,359	1,839	945	28.9%	278	313
H28	6,354	1,904	966	30.0%	271	303
H29	6,320	1,897	987	30.0%	309	322
H30	6,293	1,905	1,006	30.3%	305	345
R 1	6,312	1,942	1,051	30.8%	311	377
R 2	6,354	1,971	1,075	31.0%	323	377
R 3	6,320	1,974	1,071	31.2%	335	402
R 4	6,290	1,989	1,101	31.6%	340	413

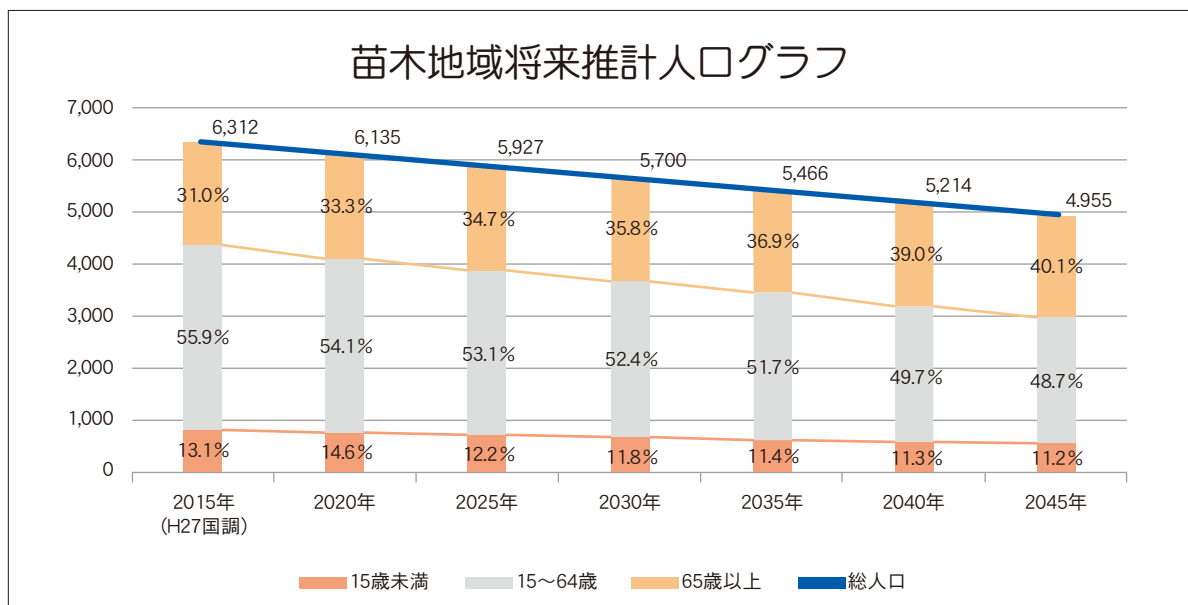
苗木地域将来推計人口

	2015年 (H27国調)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
※ 指数	100	97.2	93.9	90.3	86.6	82.6	78.5
中津川市全体	78,883	76,660	74,046	71,269	68,318	65,192	61,946
苗木合計	6,312	★6,135	5,927	5,700	5,466	5,214	4,955

引用：国立社会保障・人口問題研究所（日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計））

※ 指数（平成27（2015）年=100とした場合）

★ 2020年（R2国調）の確定値は、6,401人であり2015年より1.41%の増でした。



少子高齢化社会が目の前に迫っています。少ない子供が大人の面倒を見るという寂しい図式では、決してありません。元気な高齢者が忙しい子育て世代を助けながら、どの世代も自分の役割をはたしながら共に楽しく生きるまちを創ればよいのです。

苗木地域は、店もある、病院もある、公的機関も充実しています。生まれてから亡くなるその時まで過ごせる場所であることを願います。

『変わりゆく苗木』

航空写真で見る苗木地区の課題地

埋立地への農道からの入り口



← 埋立地に至る

苗木地区の主要道

～ 今後車の流れはどう変わるでしょうか ～



濃飛横断自動車道

苗木交流センター

リニア中央新幹線

印は課題地の航空写真の場所です



農道



埋立地

リニア工事残土による埋立地
(山の田区・瀬戸区)

埋立地はこう活用して
SANGIのちから

濃飛横断自動車道沿道

(津戸区・三郷区・上並松区・下並松区・八幡区)

濃飛横断自動車道が美恵橋まで開通し、現道を通ることになります。
沿線地区で対策協議会を立ち上げ、区民が安全に生活できるように
要望書を定期的に県、市、警察署に提出しています。



多目的広場（津戸区）

将来を見据えた利用の仕方は何でしょうか？
坂本地区に近く、今後の発展が期待できる場所です。
移住、定住も視野に入れ、地域の発展に繋げるためには、
どんなことが考えられるでしょうか？

並松の交差点改良（上・下並松区）

念願の渋滞緩和のための改良が計画されています。
リニア岐阜駅から北部へつながる道は、交通量の増加も見込まれます。

— — — — — この範囲内が改良計画路線（案）





写真提供 西尾孝義

ドローンによる航空写真は おおつかITサービス撮影のものです

2022.5発行